

令和7年5月15日	
資料提供	
担当課	有田振興局農林水産振興部 農業水産振興課
担当者	普及グループ 大橋
電話(直通)	0737-64-1273

令和7年産有田地方かんきつ類の着花状況調査結果

調査者：JAわかやまありだ地域本部、農業共済組合、県 果樹園芸課、
果樹試験場、有田振興局 合計24名

調査日：令和7年5月8日（木）

令和7年産かんきつ類の着花状況は、品種、園地や樹によるバラツキが大きく、総体的にやや少ない。

満開期は、平年と同程度。

各品目別の詳細は以下のとおり。

（1）温州みかん （111園調査）

①新梢の発生や着葉数は平年並。樹勢は中程度であったが樹勢低下園も見受けられる。

[平年に比べ、発芽期は12日程度、展葉期は5日程度遅かった。（早生品種、果樹試験場調べ）]

②満開期は、極早生で5月7日頃（平年より1日遅い）、早生で5月9日頃（平年より2日遅い）、普通で5月9日頃（平年より1日遅い）と思われる。

③着花指数は、極早生11.6（過去10年平均：10.7）、早生10.0（同：9.6）、普通8.9（同：9.5）であった。

（2）はっさく （9園調査）

①新梢の発生や着葉数は平年並み、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月11日頃（平年比3日遅い）と思われる。

③着花指数は10.6（過去10年平均：10.3）であった。

（3）清見 （10園調査）

①新梢の発生や着葉数はやや多く、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月11日頃（平年比3日遅い）と思われる。

③着花指数は8.9（過去10年平均：10.2）であった。

（4）不知火 （13園調査）

①新梢の発生や着葉数は平年並み、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月11日頃（平年比2日遅い）と思われる。

③着花指数は10.1（過去10年平均：10.1）であった。